

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

〈ホットNews〉
新「勢水丸」

01...04

〈特集〉
おもしろ研究・先生IV

05...10

〈プロジェクト〉
part2 緩和ケアチーム

11・12

〈特集〉
学ぶ・育む
プログラム「X」

13・14

〈速報〉
速報／支援プログラム

15・16

気になるNews

17・18

スポット／クラブ・サークル

19・20

紀行／本の紹介

21・22

お知らせ

23・24

歴史街道シリーズ

26

ホットNewsは

練習船新「勢水丸」

2009年1月に生まれ変わる



vol.14
2008 SUMMER

練習船 新「勢水丸」建造

現「勢水丸」旋回窓(ワイパー)から見る

練習船「勢水丸」が、2009年1月に生まれ変わります。

新「勢水丸」ができるまで



発注・契約



2007年度の政府予算に認められ、造船を三菱重工㈱に発注、船の建造がスタート。

設計

練習船として海洋実習をするための装備、仕様を決定し、三菱重工㈱下関造船所と大学の関係者が何度も話し合い、設計図が完成。



モックアップ

実物そっくりに似せたブリッジの木製模型を作り、関係者が使い勝手などを確認しながら検討。



模型水槽試験



2007年12月14日 2008年2月1日
水槽に模型を浮かべ、気泡の流れ込みの確認や波に対する抵抗等をチェック。

起工式



2008年3月26日
工事の安全を祈願し、三重大学と三菱重工㈱下関造船所の代表者が溶接の電気スイッチをONに。

切断・組立



2008年3月～9月
用意された鉄板・鋼材等をカットし、設計図に基づき、次々と組み立て。

現「勢水丸」は

1980年に建造されて以来28年、「海洋の動く実験・研究室」としてフィールド教育の場を提供するとともに、水産に関する教育・研究の重要な役割を果たしてきました。

新「勢水丸」について ご紹介します。

三重大学大学院生物資源学研究所 教授
藻類学研究所 附属練習船建造委員長
前川 行幸



[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/seisuiamaru/>

命名・進水式

2008年9月頃



新「勢水丸」の晴れ舞台、正式に「勢水丸」と命名され進水となります。

艤装

2008年9月～12月

ブリッジや各部屋の装備を施します。



ブリッジイメージ図▶

試運転

2008年12月～2009年1月

いよいよ、海の上で性能をチェックします。



完成・引き渡し

2009年1月末



全ての工程が終わり、三重大学へ新「勢水丸」が引き渡されます。

vol.6 必見

現「勢水丸」の活躍が掲載されているよ



「三重大X」vol.6 (ホットNews:勢水丸)

新「勢水丸」は凄い船

新「勢水丸」の概要

- 主要寸法
 - 全長……約50.90m
 - 幅……8.6m
 - 深さ……3.75m
 - 計画満載吃水……3.30m
- 総トン数
 - 国内総トン数……約320トン
- 定員
 - 学生……24名(予備2名)
 - 教員……2名
 - 乗組員……16名

凄① 海洋観測、大気観測設備

凄② 漁ろう設備

- トロール網(底曳網)漁業設備
- いか釣漁業設備
- 延縄漁業設備
- 曳縄漁業設備
- 計量魚群探知機
- 魚網監視装置

凄③ 海洋ブロードバンド通信

凄④ コンパクトでシンプルな電気推進機

凄⑤ ジョイスティックで自由自在の操船 (360度旋回)

凄② 生物資源調査

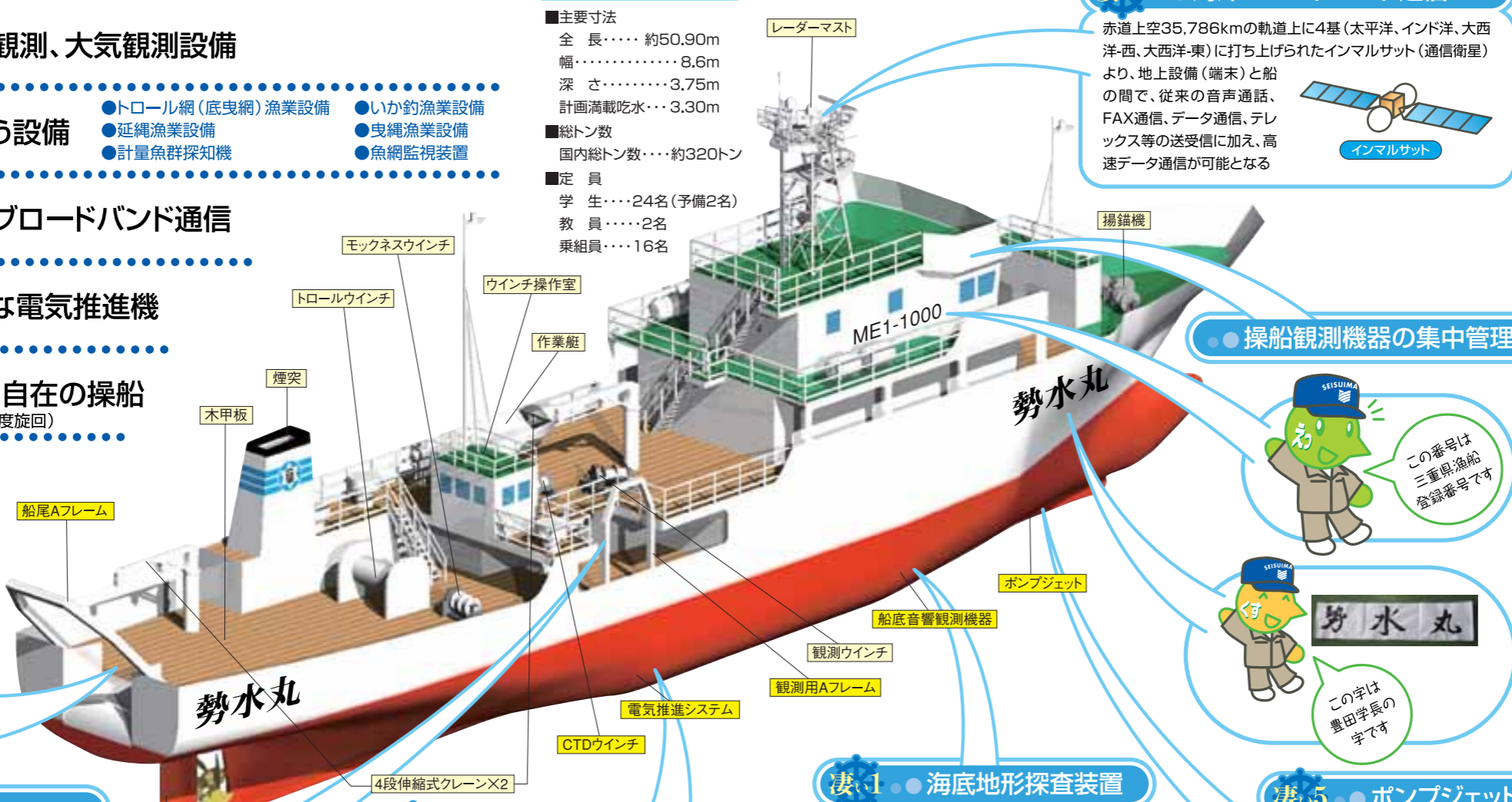


トロール網
漁網監視装置
どんな魚がどれだけのいるのか資源調査

凄① CTDオクトパスシステム

- C Conductivity 塩分濃度
- T Temperature 水温
- D Depth 水深

たこ足のような多くのセンサによって4000mの深さまで調べることができます



凄③ 海洋ブロードバンド通信

赤道上空35,786kmの軌道に4基(太平洋、インド洋、大西洋西、大西洋東)に打ち上げられたインマルサット(通信衛星)より、地上設備(端末)と船の間で、従来の音声通話、FAX通信、データ通信、テレックス等の送受信に加え、高速データ通信が可能となる



操船観測機器の集中管理



この番号は三重県漁船登録番号です



この字は豊田学長の字です

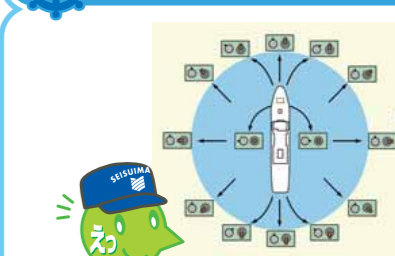
飛躍する新「勢水丸」

三重大学生物資源学研究所・准教授 附属練習船「勢水丸」・船長 内田 誠

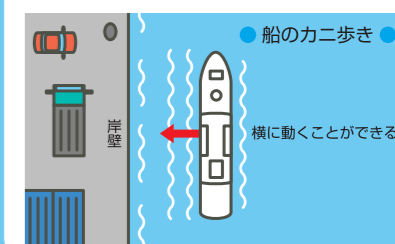
[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/docs0/seisuiamaru/indexj.html>

伊勢湾・熊野灘・黒潮流域の動く洋上の研究施設として、生物資源学研究所のみならず地域の海洋、水産研究の中核施設としての活躍が期待されています。

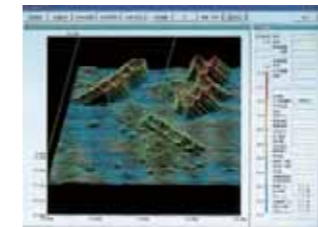
凄⑤ システム操船装置



ジョイスティック1本での操船が可能
回転ダイヤル ジョイスティック



凄① 海底地形探査装置 マルチスキャンニングソナー



海底がどのようなになっているかわかる

凄④ 電気推進システム



3つの同じ発電機は、使用電力量によって効率よく電動機を稼働させることができる

凄⑤ ポンプジェット



ポンプジェットの水の吹き出し方向を替えることにより自由な動きができる



特集
おもしろ
研究・先生IV

怪異が伝えるメッセージ



世の中は
フシギなコトで
満ちています。

三重大学人文学部・准教授
山田 雄司
【URL】 <http://onryo.syuriken.jp/>

伊勢神宮の内宮にて



臨川書店より▶

◎神のお告げ!?どう対処する?

せまる彗星、鳴動する山、群飛する蝶、汗をかく仏像、神社の社殿に巣を作る鳩…。こうした現象は、その後何か大きな事件や災害が勃発する予兆と考えられていました。現代を生きる私たちからしてみれば何でもないことも、昔の人にとっては驚異だったのです。それは、自然の中で生きていた人々にとってはむしろ当然なことで、少しの変化にも神の意志を感じて対処しようとしていたのです。

国家と関わりの深い場所で怪異が発生すると、それが朝廷に報告され、朝廷では神祇官¹や陰陽寮²による占いが行われて怪異の原因が究明され、これから何が起るのか、どのような対応をとったらいいのか判定が下されました。そしてそれに基づいた対応が施されました。そのため、伊勢神宮で発生する怪異には特に注意が払われていたのです。

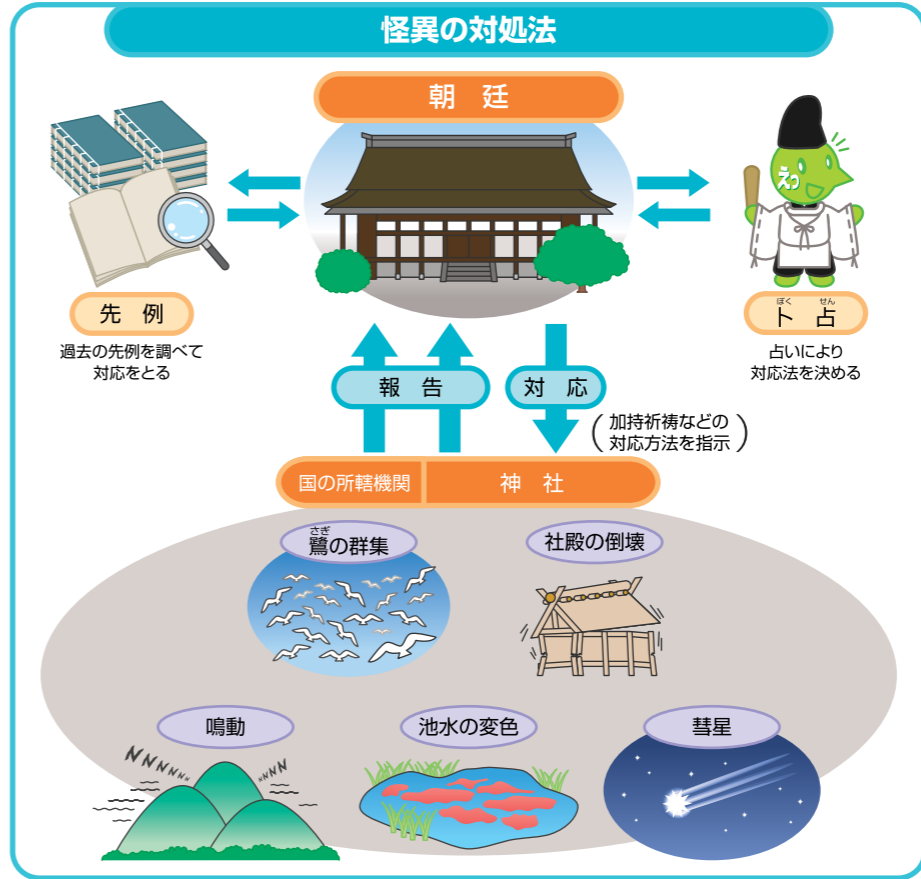


◎頼みの綱は加持祈祷

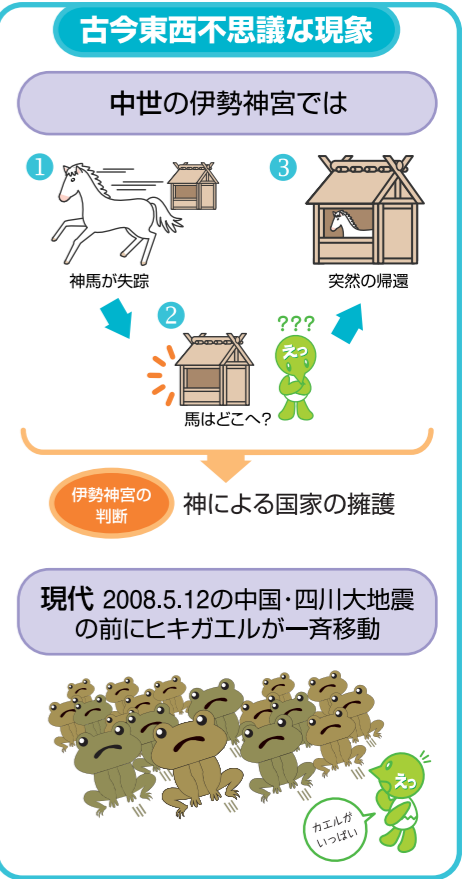
日本において怪異が信じられていたのは、古代・中世という時代でした。そのころの日本社会は「呪術的宗教」におおわれていました。国家や天皇のための加持祈祷が行われていたのをはじめ、民間では巫女や陰陽師が活躍し、人々は日々の吉凶に左右されて行動していました。度重なる疫病・災害・飢饉・戦乱の前になすすべがなく、「呪術的宗教」に頼っていたのです。そこで、危険を未然に察知しようと、怪異に対する認識も高まったのでした。

◎故きを温ねて新しきを知る

現代では怪異を信じる習慣はありません。しかし、こうした「呪術的宗教」に傾倒していた人々を、我々は一笑に付すことはできないのではないのでしょうか。怪異は自然を畏怖し敬っていた古代・中世人の心象であり、よこしまな行為をただす機能も果たしていたのです。利便性を追求して自然を破壊してきた我々は、温暖化、異常気象、環境破壊といった地球規模の危機に直面しています。こうした中、神と近かった時代の人々の生き方・考え方をあらためて見直していく必要があるのではないのでしょうか。



※1 神祇官…神社を監督する官庁
※2 陰陽寮…陰陽道(中国伝来の陰陽五行説に基づき、天文、暦数などの知識を用いて吉凶を占う)をつかさどった役所



日本の絵画とデザイン



表現に於ける手段は
ボーダレス

三重大学教育学部・准教授

岡田 博明 Okada, Hiroaki

[URL] <http://web.mac.com/halhal1962/Site/Welcome.html>

◎「私の仕事は、日本画とデザインです。」

と言うとほとんどの方は、不思議な顔をします。同じ美術でもかけ離れているように思えるからでしょうか。しかし、私は日本画もデザインも表現の手法の一つであり、技術的な違いこそありますが、制作に対する考え方は同じであるべきだと考えています。

◎世阿弥の言葉「離見の見」

「舞を舞う者は、自分の前方を見る事はできる。これを『我見』と言います。しかし『我見』では、自分の後ろ姿までは見る事はできません。そこで、観客が舞を見ている視点である『離見』と『我見』との2つの視点から見る姿を、自分の全体の姿として捉えた上で舞を舞え。」という世阿弥^{*1}の教えがあります。私は、あらゆる表現にこの教えが当てはまると考えています。

◎表現手法「離見の見」

デザインでは、こんな物を創りたい=『我見』。しかし、使う人にとって機能性はどうか=『離見』。

絵画では、このモチーフをこう表現したい=『我見』。しかし、それは見る者にも同じように感じられるか=『離見』。と言うように、どのような表現手法でも、この『2つの見』を統合した『離見の見』を当てはめ、目的に応じてデザインと言う手法や絵画と言う手法で表現を行えばいいのです。

作品を創る制作過程においても『離見の見』が生きてきます。作品を創るとは、一つひとつの行為^{*2}の積み重ねです。そして、その一つひとつの行為を評価しなければなりません。今、決めた線は、色は、これで良いかを一つひとつ確認した上で、次の行為に進みます。この時の評価が『離見』であり、また評価するための基準が『我見』です。『我見』が、曖昧なままに制作を続ければ、作品は、完成を見ることがないでしょう。

◎創造の源

ある心理学の先生が、「人は表現する事が出来なくなると、心が死んでしまう。」と言っています。その手段が、絵画やデザインもしくは、音楽や言葉や文字であっても、我々は、誰かに自分の思いを表現したいと思っています。一つの手法にこだわる事は重要な事です、しかし、自分で自分に制約を設けてしまう事は、ありません。そこに『離見の見』が生かされていれば、表現における手段は、ボーダレスであるべきなのです。こだわりと自由な表現による発想の飛躍こそが創造の源と考えます。

*1 世阿弥=室町時代初期の猿楽師。父の観阿弥(観阿彌陀佛)とともに猿楽(申楽とも。現在の能)を大成し、多くの書を残す。観阿弥、世阿弥の能は観世流として現代に受け継がれている。

*2 描く、切る、付ける、削る、こする等々のあらゆる人為的作業の痕跡。



2007年の作品から「薄墨桜」1940×1303



三重県災害情報収集車

2006年の作品から「午睡」F10

2008年の作品から「さくら」120×120

「静寂の刻」1940×1303

デザイン研究室では、デザインの有用性をもっと理解してもらうために学生と協働でバーチャルデザインオフィス「カゲムシャ」を運営しています。グラフィックデザイン中心で主に大学内の仕事を請け負っています。学生のデザインですが、興味の有る方はホームページをご覧ください。

[Web address]

http://homepage.mac.com/kagemu_sya/web/index.html

最先端技術で未来の医療に貢献する



三重大学大学院工学研究科・准教授(生体材料化学)
宮本 啓一
[URL] <http://material.chem.mie-u.ac.jp/~miyamoto/index.html>

この伸びる
エラスチン材料に
期待して下さい。

◎“ホンモノ”の生体組織を人工的に製造する研究

人間の体は、病気や事故で大きく損傷すると元には戻りません。最近では一部の機能は代替できるようになりました。しかし本物にかなうまでには届きません。事故や病気などで傷ついた体の組織や臓器を復活させるにはどうすればよいかをテーマに研究を進めています。

◎適材適所 ～コラーゲン、エラスチンはバランスが大事～

人間の体は細胞と細胞を取り囲むタンパク質等からできています。このタンパク質を細胞外基質と呼び、主にコラーゲンとエラスチンが知られています。

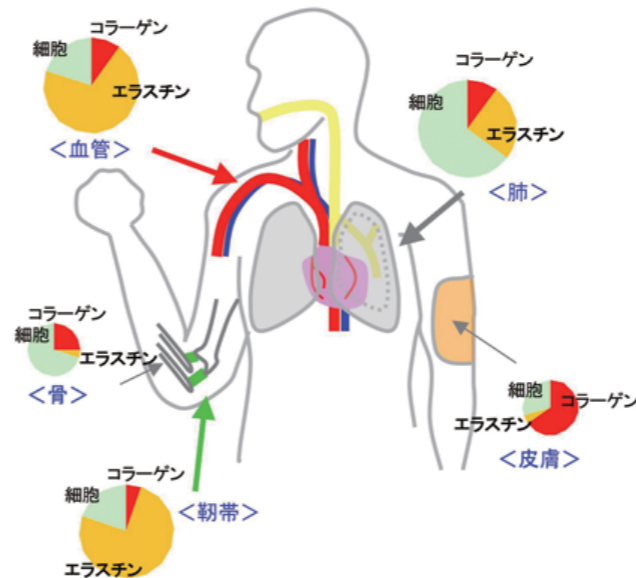
最近の健康・美容ブームで有名なコラーゲンは、体の中では鋼のように強く、強度が必要な部分に多く、特に骨や腱、皮膚に含まれます。それに対しエラスチンは、ゴムのように伸縮性が必要な血管、靭帯や肺などに豊富に含まれます(図1)。

◎知られざる生体機能の解明 ～エラスチン～

血管は脈を打つことでもわかるように伸縮性が重要で、動脈硬化などを起こした血管ではエラスチンが減少しています。血管の伸縮性は平滑筋細胞と呼ばれる筋肉細胞の収縮と、その動きを支えるエラスチンが必要です。またエラスチンは単にゴムのような性質を担うだけでなく、平滑筋細胞の正常な動きを維持するために重要な働きをすることが、最近の研究でわかってきました(図2)。

図1 生体組織の細胞外基質含有率

ほとんどの生体組織はコラーゲンとエラスチンが特有の比率で存在しています。病気や加齢によりこうした含有率は変化するとされています。



*比率は水分を除いたもの

◎細胞の再生力によって人工臓器が“ホンモノ”になる

こうした生体の機能を解明し理解しながら、その機能を再生させるために、組織や構造をまねた材料を製造しています。生体から抽出した材料を粉状にして、そこから人工臓器を製造します。この人工臓器と生体の細胞を体外で組み合わせ、細胞の自己再生力を引き出し、本物の血管や靭帯などの組織を作り出す研究です(図3)。

まだ実用段階には至っていませんが、未来の医療のために一日でも早く、実用できる日が来るように日々研究しています。



図2 動脈血管構造とエラスチン

血管壁のほとんどを占め平滑筋細胞の収縮運動を支える中膜領域は、エラスチンの微細構造から構成されています。

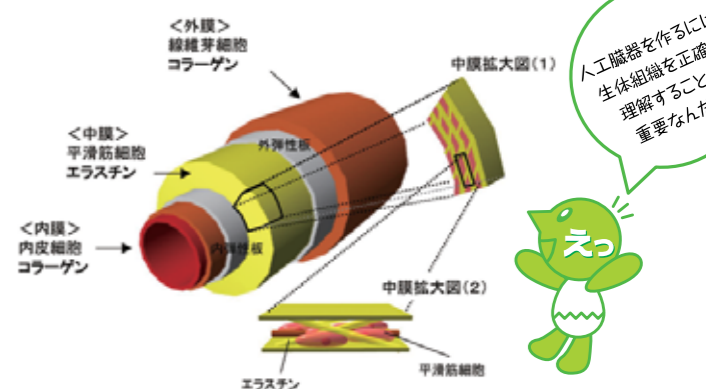


図3 エラスチン製人工臓器



がんセンター

三重大学医学部附属病院

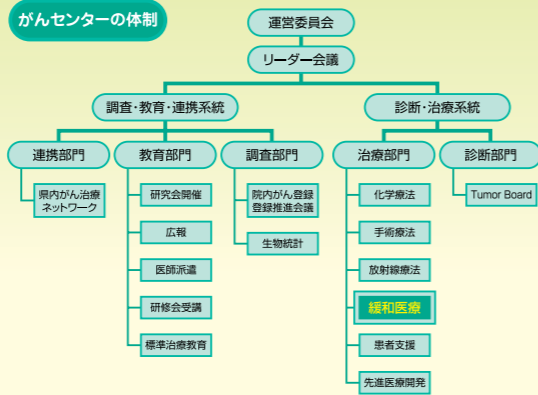
Part II

～緩和ケアチーム～

がんになっても、その人らしくその人が満足できるような生活をめざして



生きてる間に「がん」にかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人と言われ、年間に30万人以上の方が亡くなっています。医学部附属病院がんセンターでは、三重大学医学部の総力を結集し、効率的で全人的ながん診療に取り組んでいます。



緩和ケアチームメンバー

緩和ケアチーム

緩和ケアとは、「がん」になったとき、身体的な苦痛だけでなく、精神心理的な苦痛を和らげ、心のケアを含めた全人的な医療のことで、患者様やご家族が充実した生活を送るための大切なケアです。緩和ケアは、がん治療の初期段階から、がん治療と一緒に受ける医療です。

経緯

- 2003年 有志による緩和ケアチームを立ち上げる
- 2004年 活動開始
 - ① コンサルテーション
 - ② チーム定例会
 - ③ 院内事例検討会
 - ④ 緩和ケア学習会
- 2005年11月 正式な組織として発足する
- 2006年 8月 三重大学医学部附属病院がんセンター設立緩和ケアチームコアメンバーによる定期的な院内回診が始まる
- 2007年 1月 附属病院は、三重県のがん診療連携拠点病院に指定される

がん医療の動向

- 2007年 4月 「がん対策基本法」施行され、緩和ケアが重点項目の一つに盛りこまれた。



精神症 状の緩和

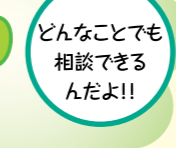
～ 対話を大切に～

精神科神経科
医師
松本 卓也
Matsumoto, Takuya



患者様の精神的な苦痛や不安が和らぐように力を注いでいます。

普段は、一般精神科診療(統合失調症、うつ病など)の治療も行っていきます。その経験を生かし、精神面でのケアに取り組んでいます。がんなど生命を脅かす疾患に直面すると「生」や「死」、「人生」などについて考えたり、その他様々な心の問題が起こってきます。患者様やご家族だけで抱え込むことのないよう、チームメンバーや病棟スタッフと話し合い解決するよう努力しています。



どんなことでも相談できるんだよ!!

薬剤師
岡本 明大
Okamoto, Akiharu



「薬」の専門家

～豊かな薬の知識～

患者様が薬を正しく理解し、納得のいく治療が受けられるように全力投球です。

薬剤師は、数年前まで顔の見えない存在でした。しかし、現在は、各病棟に配属され、より患者様に近い所で服薬指導、処方確認等を行っています。さらに、チーム医療では、医療用麻薬や薬の飲み合わせ等、薬の正しい知識を患者様に提供しています。患者様が痛みをがまんすることなく、生活が送れるように最善を尽くしています。

がん看護のスペシャリスト

～専門知識と幅広い経験～

院内をくまなく回り、様々な調整をしながら、最良のケアに努めています。



がん看護専門看護師
中村 喜美子
Nakamura, Kimiko

「がん」になっても「がんと共に生きるひとりの人」として少しでも快適に、その人らしく療養生活を送っていただけることを目指し、患者様と向きあっています。また、専門看護師*として部署を超え、病棟看護師の皆さんと一緒に考え、より良いケアの提供に取り組んでいます。

*「専門看護師」とは、日本看護協会*の「専門看護師認定審査」に合格し、ある特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有すると認められた看護師のことで、6つの役割(実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を担っています。2008年5月12日現在、がん看護専門看護師は、全国で104名(三重県4名)

*日本看護協会
【URL】<http://www.nurse.or.jp/index.html>



がん相談支援センター

がん相談支援センターは患者様・ご家族の不安を多職種チームでサポートいたします。

● 予約受付時間 ●
月～金曜日 8:30～17:15

医療福祉支援センター内がん相談支援センター

電話 059-231-5434 (直通)
番号 059-232-1111 (代表)



(Problem-based Learning)

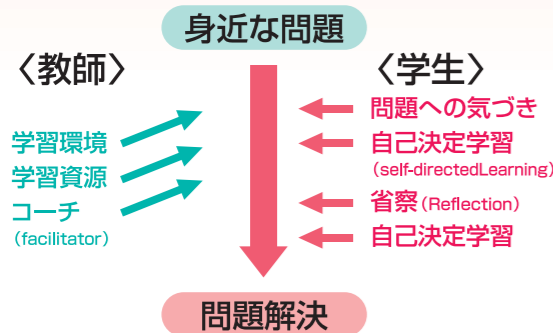
PBL-Tutorial 教育 (問題発見解決型学習)

能動的な学習能力を引き出し、人間性豊かな医師を育てる。

三重大学では、学生の「感じる力」「考える力」「生きる力」とそれらの基盤となる「コミュニケーション力」を育てることを目標に、PBL-Tutorial教育を導入しています。この教育方法は、学生が自ら課題を分析し、その中の問題を発見・解決していく「問題発見解決型学習」で、特に医学部では、将来医師として患者様とともに問題を解決していく能力を養うことのできる教育方法として、その効果が期待されています。



● 学生の内在する能力を育てる



- ・ 医師として、専門知識をツールとして使いこなせるセンスを育てる。
- ・ 患者様の内面的なケアまで考えられるコミュニケーション力を育てる。
- ・ 医療現場で直面する問題を、自己解決できる力を育てる。
- ・ 医師としての心構え、使命感を育てる。

医学教育カリキュラム

- 1、2年次～3年次前期 ● 基礎医学教育
- 3年次後期～4年次 ● PBL-Tutorial 教育
- 5年次 ● 診療科での必修研修
- 6年次 ● 関係教育病院での臨床実習

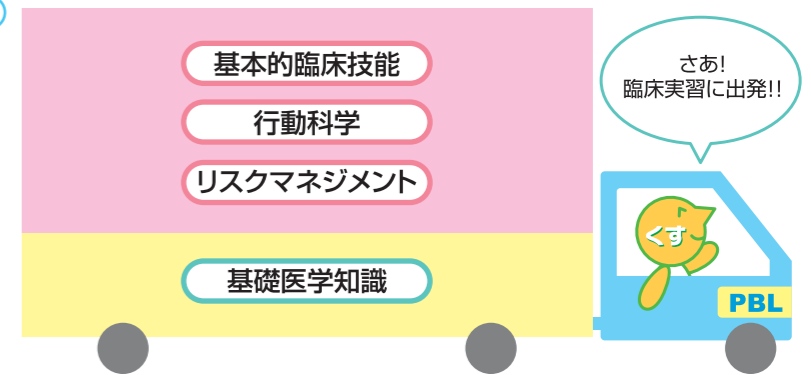
どんな風に学ぶ?

- 7～8名の学生とチューター (教員) 1名がグループを形成
- 約1ヵ月間、3～4つの課題について自己学習とグループ討議を繰り返し行い自己評価
- 新たなグループメンバーで、次の課題を検討 (1年半で12回、50課題に取り組みます)

どんな課題を学ぶ?

● 具体的症例に基づく学習

- 58歳男性。会議中に、突然の胸痛と冷汗が出現し、救急車にて来院した。
(答え) 急性心筋梗塞
- 23歳女性。両足のむくみ、体のだるさを訴えて、来院した。
(答え) ネフローゼ症候群
- 67歳男性。食事中に、急に右半身の麻痺に気づき、その後、意識消失を来し、救急車にて来院した。
(答え) 脳出血
- 52歳女性。3年ほど前からの両手の指のこわばりに気づき、来院した。
(答え) 慢性関節リウマチ
- 生後2週間の新生児。ミルクを噴水状に嘔吐するとのことで、紹介受診した。
(答え) 先天性幽門狭窄症

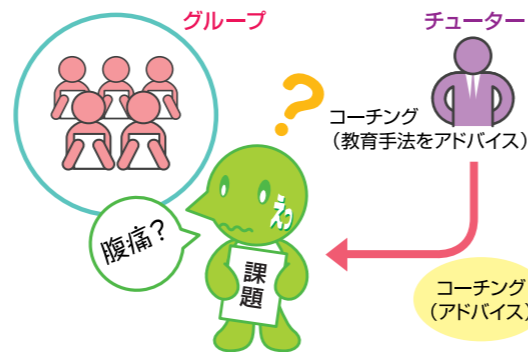


三重大学医学部医学科のPBL-チュートリアル教育は、10年以上前に、豊田学長をはじめとする当時の医学部の先生方が、ハーバード大学など海外の先進医学校を見学して導入したもので、他大学が見学にくるほどの先進的取り組みでした。その成果をふまえて、改善を加え、今に至っています。なんといっても、楽しそうに討論・自習をする医学生たちの様子を見てみると、この教育法の有用性が実感できます。

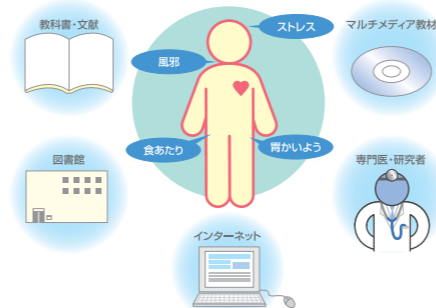
中井 桂司
三重大学大学院医学系研究科・講師
(医学教育・看護学教育センター)

PBLのプロセス

① 患者の症状を設定 (課題)



② 原因を考える (自己学習)



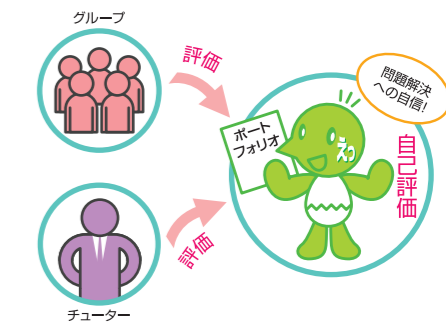
課題 (症例) を引き起こす様々な原因と対処方法を、様々な手法で検討します。

③ 対処法を考える (グループ討議)



自己学習の成果を持ち寄り、グループで討論します。ここでコミュニケーション力が養われ、チーム医療の訓練にもなります。

④ 自己評価 (学習行動評価)



自分で調べ結論を導き出すことが、自信へと繋がります。
*レポートフォリオとは、学生が自己学習を行う過程とその成果を記録したもので、レポートや論文とは違い、自己評価やチューターの評価なども含まれた記録物

文部科学省 支援プログラム

女性研究者支援 モデル育成とは、

女性研究者がもてる能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を行える仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援するものです。

都市エリア産学官連携 促進事業とは、

大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出すとともに、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成等に展開するための産学官共同研究を実施する事業です。「一般型」では、地域の個性発揮を重視しており、「発展型」では、「一般型」等の終了地域のうち、特に優れた成果を上げ、今後の発展が見込まれる地域において、地域イノベーションシステムをさらに発展させることを目指しています。

パールの輝きで、 理系女性が三重を元気に

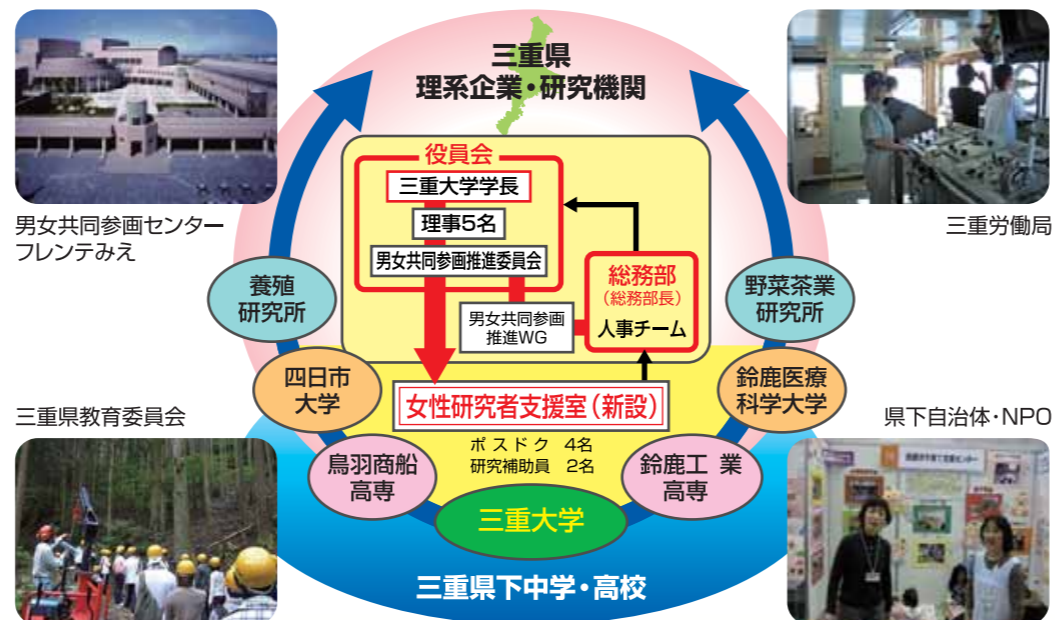
女性研究者支援モデル育成

平成
20年度

本学の医学系研究科、工学研究科、生物資源学研究科の女性研究をめざすとともに、三重県下の理系女性研究者を擁する6つの理系進学を希望する女子高校生を増加させ、女性研究者が活躍するものです。学内では、女性研究者支援室を立ち上げ、理系大携6機関との間にムードルによるシステムを構築し交流を行います。ター「フレンテみえ」との協同によって、女性研究者をエンカレッジ女性の活躍の場を広げ、県内全域に活気をもたらすことをめざし

研究者の増加と研究継続の支援機関との緊密な連携の下に、できる環境を整えていこうと学院修了者の進路開拓や、連また、県の男女共同参画センジする講演会を開催し、理系

◎ 実施体制 ◎



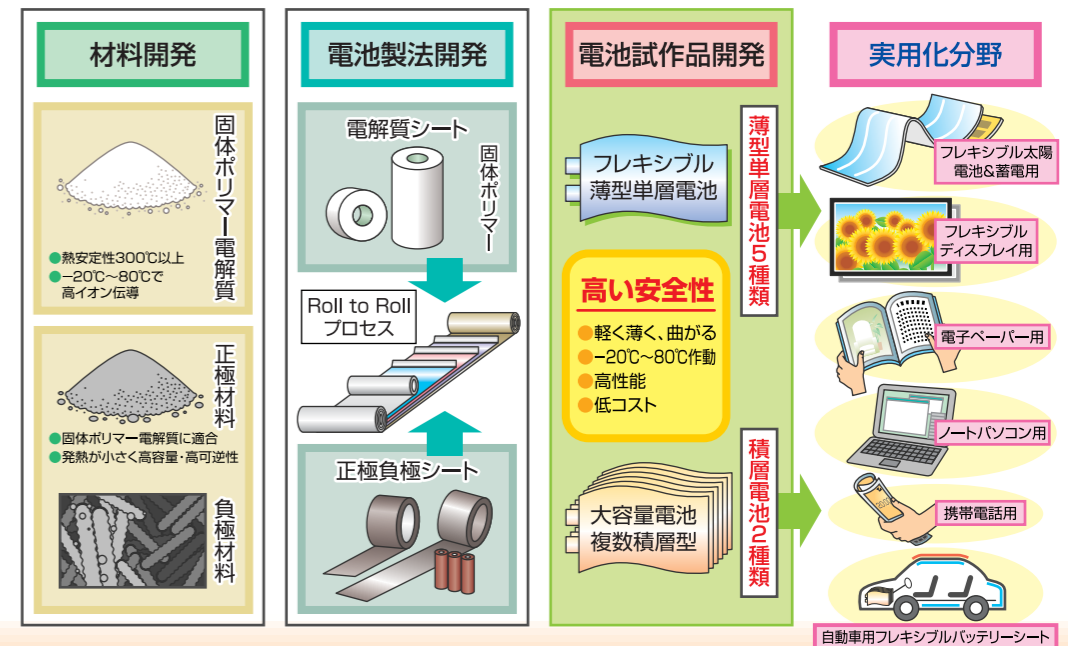
新世代全固体 ポリマーリチウム二次電池の 開発と高度部材イノベーション への展開

都市エリア産学官連携促進事業(発展型)

平成
20年度

平成16年~18年に標記事業の一般型として行った「次世代ディスプレイのための材料開発」研究から生まれた「燃えない安全な新世代の全固体ポリマーリチウム二次電池」の実用化を目指します。平成20年度~22年度までの3年間、フレキシブルで薄い、全く新しい電池の研究開発を進めていきます。20年度より発足予定の「三重大学次世代型電池開発センター」を研究開発のプラットフォームとし、さらに四日市の「高度部材イノベーションセンター」で、より実用に近い形のプロトタイプを製作するとともに三重県や企業と連携して、研究開発を行います。

研究開発計画 ◎ 事業化に向けた研究開発目標(高い安全性) ◎



平成20年 3月17日 「情報化シンポジウム・イン・三重」

産・官・学と地域の連携で地域情報化推進を目指すシンポジウムが開催されました。日経メディアラボの坪田知巳氏、総務省自治行政局の藤井信英氏と本学小林英雄理事による講演が行われ、約120名が耳を傾け、意見を交換しました。



平成20年 3月16日 日本学生女子ハーフマラソンで優勝!

教育学部4年生水口侑子さんが2回目のハーフマラソンで見事優勝しました。いつかフルマラソンでオリンピックに出場できるようにトレーニングに打ち込んでます。



平成20年 3月17日 「医学部 附属病院の新営工事 安全祈願祭」

第1期工事として病棟・中央診察棟の一部の建設に向け、工事が進められます。工事は平成23年6月までの予定で、地域に高度な医療を提供できる新しい大学病院の完成を目指しています。



想定 熊野灘沖地震(マグニチュード8.1) 遠州灘沖地震(マグニチュード8.0) 同時発生 平成20年 3月18日 大規模災害 図上訓練を実施

巨大地震が発生したと想定し、大学内に災害対策本部の設置し、応急対策についてシミュレーション訓練を行いました。問題点をクローズアップすることができ、有意義な訓練となりました。



平成20年 3月中旬 低体重児の 心臓難手術に成功!!

胸部心臓血管外科チームが3月中旬、生後1ヶ月(1,574g)の赤ちゃんの混合型総肺静脈還流異常の手術に成功しました。直径3mmの血管をつなぐ難手術で、術後経過もよく赤ちゃんは順調に回復しています。



平成20年 3月22日 「ロボパーク」 イオン津南 ショッピングセンターで開催

約30種のロボット集合に参加した子どもたちは理科の楽しさを体験しました。三重大学(大学院工学研究科機械工学科メカトロニクス研究室と集積加工研究室)のロボットたちは大好評!



平成20年 4月8日 「平成20年度 入学式」

学部生1,406名、大学院生511名、専攻科、別科、編入学生、合計2,024名を新たに迎えました。在学生らによる歓迎のパフォーマンスも行われ、新入生たちは最初の一步を踏み出しました。



平成20年 4月16日 「えっくす」vol.7で紹介 「高齢者・障害者 向け椅子」特許取得

工学研究科池浦教授が、三重県工業研究所、三恵工業㈱と共同で背もたれ部分の形を自由に換えられる椅子を開発し、特許を取得しました。簡単に適正な姿勢をとることができるので、普及が期待されます。



えっくすくん information 気になる NEWS

平成20年 3月28日 今年で2回目となる 「白衣授与式」

医師の卵として臨床実習に入る節目に、医師としてのあり方について深く考える機会を与えることを目的としています。今年は98名の医学部新5年生が医師を目指して決意を新たにしました。



平成20年 3月29日 三重大学合唱団・ 附属幼稚園・小学校・中学校 ジョイントコンサート開催

総勢約170名が出演し全23曲をそれぞれの持ち味を活かし合唱しました。最後は園児から大学生まで全員で「春に」「さんぽ」を合唱して大きな拍手をいただきました。



平成20年 4月23日 「放置自転車」を新入生に

キャンパス内に放置された約400台の自転車を、環境ISO学生委員会の学生が整理し、再利用できる42台を新入生に抽選で譲りました。抽選会には、約100名の新入生が参加しました。



平成20年 4月29日 附属中 第3回ホーム カミングデー☆2008

卒業生、在校生、保護者、OB、教員など約100名が集まり、校内で使っていた木製ベンチを塗装する奉仕作業や、ドッジボール大会、お茶会など久しぶりに会う仲間と楽しみながら交流を深めました。



車雑誌 「えっくす」 Vol.2で紹介 「OPTION2」 4月号に掲載

平成20年 2月22日 VBL大型 風洞内実験施設で サイバーカーの実験!!

工学研究科前田太佳夫教授が、車部品製造会社ボルテックスからの依頼でエアロパーツ装備車のダウンフォース実験。今回の実験データを筑波サーキットで反映させ、タイムアタックで過去の記録を1秒も縮めました。



平成20年 5月2日 「医学部看護学科 開設10周年記念式典」

看護学科は、昭和23年開校の「三重県立医科大学附属医 院厚生女学部」に始まり、医学部附属看護学校、短期大学部等を経て、現在の医学部看護学科になりました。式典では、豊田学長をはじめ、山口直美 三重県看護協会長の挨拶、武村泰男 元本学学長による記念講演が行われました。



津ヨットハーバー祭 平成20年 5月3日 「勢水丸」 船内見学会

沖に停泊した船内で伊勢湾や熊野灘で見られるイルカやクジラをスクリーンに映して紹介したり、操舵室や甲板の見学等約100名の参加者でにぎわいました。



平成20年 5月14日 小児科 病棟の遠足 ~病院長に会いに行こう~

入院している子どもたちが、内田病院長の研究室と看護学科ホールへ遠足に出かけました。子どもたちは、内田病院長への質問タイムやビンゴ大会など、楽しい時間を過ごしました。





INFORMATION*SPOT*
ミキモト真珠島 鳥羽市

世界で初めて真珠養殖に成功した人！
今年生誕150年の御木本幸吉の秘密を探りにミキモト真珠島へ行ってきました。

○幸吉の願い

「世界中の女性を真珠で飾りたい」
この想いを胸に妥協を許さず、美しさを追い求めた幸吉は多くの苦難を乗り越え、真珠の養殖に成功しました。

真珠に一生を捧げた幸吉は、世界に向け事業を展開する一方、真珠の品質向上にも努めました。幸吉の真珠に対する姿勢は、現在にも受け継がれています。ミキモト真珠島は三重県から「三重ブランド」の認定を受けています。



▲アコヤガイと真珠



▲御木本幸吉記念館

▲幸吉の銅像



▲真珠博物館
真珠ができるしくみかわかったよ。



▲真珠博物館
いろんな貝がありました。



▲姫路城(12月7日まで展示中)
真珠がいっぱいあってきれいでした。



▲地球儀
なんと！海の部分は全部真珠！

▲海女さんの実演です。おみごと！！



実演を行っています。見に来てね！

加藤レポーター



ミキモト真珠島

■所在地
〒517-8511
三重県鳥羽市鳥羽1-7-1
■お問い合わせ先
TEL.0599-25-2028
【URL】<http://www.mikimoto-pearl-museum.co.jp>



僕も行ってみたいなあ。

○6月はパールの季節

通りから島へ通じる橋を渡ると、そこは別世界でした。幸吉の銅像があり、海には筏が浮かび、実演する海女さんの姿があり魅了されました。

真珠博物館には、姫路城の美術工芸品がありました。この作品のすごいこと！白壁、石垣が精巧で、土台に敷き詰められた無数の真珠にびっくり。その他、多数の作品があり、目を奪われました。真珠が出来るまでを紹介した展示では、自然現象に気を遣い、手間暇を惜みず真珠を作る人々の姿に感銘を受けました。

御木本幸吉記念館は、彼の生涯のエピソードを知ることができる場所で、特に完成まで10年以上費やしたと言われる幸吉秘蔵のネックレス「大将連」は見ごたえがありました。

合唱団

代表 伊藤 路恵
(人文学部文化学科 3年)
【HP】<http://side-b.jp/mucc/index.html>



活動は!毎週火・木18:00~20:00
土曜日12:30~16:30

私たち合唱団は学生指揮者を中心に日々練習に励んでいます。

合唱の魅力はみんなとの一体感が得られることです。そんな体験を私たち合唱団と一緒にしてみませんか。

昨年度、日々の練習の甲斐あって全日本合唱連盟主催の「全日本合唱コンクール中部支部大会」において金賞を受賞し、「第60回全日本合唱コンクール全国大会」に出場しました。

今年度は合唱祭、コンクール、三重大学祭に参加し、1月に定期演奏会を行う予定です。

ぜひぜひ一度私たちの歌に触れてみてください。いつでも興味のある方お待ちしています。



CLUB・CIRCLE・CLUB・CIRCLE・CLUB・CIRCLE・CLUB・CIRCLE・CLUB・CIRCLE

みなさんはハンドボールがどんなスポーツか知ってますか？

実際に見てください。体験してみてください。きっと

ハンドボールの面白さがわかるはず!!

ハンドボール部は男女共に個性豊かなメンバーが集まっている部活です。

主な活動は春季・秋季のリーグ戦に向けて練習をし、夏休みには他大学との合同合宿を行うなど行事も多々あります。

月・水・金曜日は16時半から屋外のハンドボールコート、土曜日は15時半から第一体育館で練習しています。

興味のある人はいつでも見学に来てください!!



代表 天野 知亜紀
(人文学部社会科学科 3年)

ハンドボール部



紀行「天・津・爛・漫」

『春景色』

天津市は三寒四温を繰り返しながら、日一日と暖かくなり、4月の始め頃はまだ蕾だった花々が一齐に咲き始めています。公園での美しい花々や歩道並木の開花、人々の服装も冬物から一挙に華やいだ服装に変わり、市内は春景色で彩られています。

この時期人々は、柳の綿毛が雪のように乱舞する中を歩き、春景色を満喫しています。私もまた春を満喫しながら、天津師範大学の近辺を散策しています。ご存じの通り、天津は初代総理周恩来氏*1ゆかりの地であり、南開大学には氏の像が立っています。

また、その近くには市民の憩いの場「水上公園」もあります。私のいる八里台橋を挟んで天津大学、天津医科大学、南開大学、少し離れて旧天津理工大学（現在は移転）があり、まさに大学区といってよいでしょう。市民が公園と同様に自由に大学構内を散策し、キャンパス内の美しい花々を愛でている姿に接すると、大学がとても身近な存在となっていることを実感し、春景色を楽しんでいるところです。

2008.4.15 あきお記



▲天津師範大学の春景色



▲南開大学の春景色 I



▲南開大学の春景色 II



先生からの一言

OICE



伊藤 彰男

在天津師範大学
国際交流センター客員教授
(三重大学名誉教授)

日本と中国では、
花の開花時期が少し
違います。
日本よりも中国は少し時期が
遅れて4月中旬頃から
開花します。
緯度の関係でしょうね。



▲中国の四川大地震がありました。
天津師範大学でも教職員と学生
が自主的に寄付をしました。

えつくすくんのまめちしき



*1 周恩来

中国の政治家。南開中学出身（現南開大学）。中華人民共和国に奔走し、設立後は、行政・外交に手腕を発揮し、要職を歴任しました。
1972年には、首相として日中国交正常化の共同声明に調印しました。

▲南開大学にある周恩来像

〈ひとり言〉



天津といえば、
"天津甘栗"が思い浮かびます。
比較的粒が小さく、味香りとも抜群です。むかし天津港から輸出されたことからこのように呼ばれるようになりました。



本の紹介



『特別支援教育臨床を
どうすすめていくか
—学校臨床心理学の新たな課題—』

その子らしい育ち・あり方・生き方の支援を、発達と教育の原点に立ち返り、臨床心理士・臨床発達心理士の視点で具体的・平易に述べた本。教師（を指す人）・保護者はもちろん、すべての人にぜひ読んでほしい本です。

著者／栗原輝雄（教育学部・特任教授）
定価／1,000円（税別）
発行／ナカニシヤ出版



『循環型社会の構築と農業経営』

環境負荷の小さい農業経営の展開条件を技術と人間の両面から解明した学術書。日本農業経営学会3年間の学会シンポジウム報告と討議を一冊に集大成しました。国内外の環境技術、環境問題の専門家も執筆し、院生必携書です。

編者／日本農業経営学会
共著／石田正昭（生物資源学研究所・教授）
波野野家（生物資源学研究所・准教授）他
定価／4,200円（税別）
発行／農林統計協会



『LD, ADHD, 高機能自閉症等の子どもための指導教材集 第1集』

本書は、日本LD学会が平成17（2005）年度に実施した第1回指導教材公募に受賞した教材を紹介しています。各地域の教育関係者が発達障害の子どもたちの特性に合わせて創意工夫した教材が満載で実際に活用することができます。

編者／日本LD学会
共著／滝口圭子（教育学部・准教授）
寺田容子（国立身体障害者リハビリテーションセンター）他
定価／2,500円（税別）
発行／明治図書出版



『図解 鋼構造の造形と設計 —デザインと構造をつなぐ—』

学部後半の建築デザインの演習に適した教科書。構造技術と建築デザインの関係について、図解を主軸にわかりやすく実践的に説明しています。三重大学、名古屋工業大学など、東海地方の大学教員が共同で執筆。

編者／小野徹郎（名古屋工業大学・教授）
富岡義人（工学研究所・准教授）
定価／3,000円（税別）
発行／鹿島出版会



『コンピューターサイエンス教科書シリーズ4
「プログラミング言語論」』

プログラミング言語に関する基本的事項であるプログラミングパラダイム、構文および意味論を取り上げた理工系大学の学部生用の入門書です。

共著／大門口通夫（工学研究所・教授）
五味 弘（沖ソフトウェア（株））
定価／2,900円（税別）
発行／コロナ社



『人工臓器イラストレイティッド』

医療の最先端技術を支える人工臓器の世界。複雑な仕組みや機能を、多くの専門家や医師の視点でカラーイラストにより、読みやすく解き明かしています。

編集／日本人工臓器学会
取材協力／宮本啓一（工学研究所・准教授）
定価／2,200円（税別）
発行／はる書房



『アメリカン・ルネサンスの現在形』

アメリカの個人主義の理想を語ったエマソン、ホーソーンの「緋文字」やメルヴィルの「白鯨」のような迫力ある小説、エコロジーの豊かな源泉ローアの『ウォールデン—森の生活』など、19世紀アメリカ文学は、現代に生きる思考が特徴であることを明らかにしています。

編者／増永俊一（関西学院大学・教授）
共著／小田敦子（人文学部・教授）他
定価／3,500円（税別）
発行／松柏社



『新自由主義改革と日本経済』

規制緩和や民営化を推進した市場重視の「新自由主義思想」が日本に波及した経緯と、その結果抱えるにいたった切実な問題の根源を各分野の専門家が生活者の視点から浮き彫りにしています。

共著／櫻谷勝美（人文学部・教授）
野崎哲哉（人文学部・教授）他
定価／1,800円（税別）
発行／三重大学出版会

馬越峠と岩屋堂
熊野古道と石仏たち



馬越峠の石畳



▼岩屋堂



▼岩船地蔵。現在、尾鷲市南浦の長寿園に安置されている。(三重県立熊野古道センター提供)

馬越峠は熊野古道のなかでも随一の美しい石畳が残る峠道として知られています。江戸時代、峠には蕎麦や餅を売る茶屋があり、また船に乗った石道の地蔵尊、岩船地蔵が祀られています。十八世紀初めに下野国(現・栃木県)の相撲取りが地蔵尊を背負ってこままでやってきたといつ伝承があります。

さて、この峠から尾鷲の街へ下りると、左手の天狗倉山へ登っていく旅人がいました。山上の巨大な岩場は、鉄砲の名手・種時き権兵衛が犬蛇を退治したという伝説の地です。

この天狗倉山の中腹に岩屋堂という洞窟があり、弘法大師の作と伝えられる観音像と三十三体の観音が祀られています。熊野街道を行く巡礼たちは、西国三十三番札所の第一番 那智山青岸渡寺に至る前にも、観音信仰に関わる場を熱心に訪れたのです。洞窟に多数の石仏が並び空間には、厳かな雰囲気漂います。

現在は、岩屋堂へは麓から登る道が用いられています。天狗倉山から下る険しい道は、道中案内記に「雨の時は行くべからず」などとされた難所で、近年地元の方により発掘されるまで長い間埋もれていました。この道は、紀州藩が整備した多くの峠道とは異なり、中世にまで遡る古い道だと思われまふ。

ここを下り、旅人は尾鷲の街中に入ります。中井町には旅籠屋が立ち並び、その先には林業や交易で財を成した土井家の屋敷が、偉容を誇っております。

三重大学人文学部 教授
日本史 伊勢湾・熊野地域研究センター
塚本 明



▲現在の中井町の街並み



本誌お問い合わせ先

三重大学総務部広報チーム
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789
FAX 059-231-9623
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] vol.14

平成20年6月1日発行
●発行 / 三重大学広報委員会
●編集 / 三重大学広報室
●印刷 / 有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
◎禁無断転載
本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

＊ お願い・ご報告

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎ 学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎ 学生の修学環境整備事業
- ◎ 学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎ 地域貢献支援事業
- ◎ その他本学の目的達成に必要な事業

● 募金の方法 ●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください (FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先・お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局
【総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>



メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

koho@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。



アンケートに答えて…

えっくすくん特製
“えっくすくんわいわいストラップ”
もらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいストラップ」をお送りします。

どしどしお寄せください。(締切:8月末)
*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわいわいストラップ」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上で投函ください。



三重大学 2008 オープンキャンパス 開催

オープンキャンパスの日程が決定しました

開催日	学部
平成20年 7月31日[木]	工学部
平成20年 8月1日[金]	人文学部
平成20年 8月4日[月]	教育学部
平成20年 8月5日[火]	生物資源学部
平成20年 8月6日[水]	医学部

★内容★

各学部学科紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など

《お問い合わせ先》

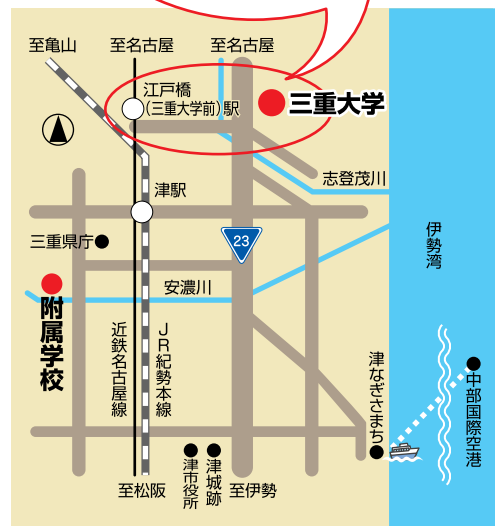
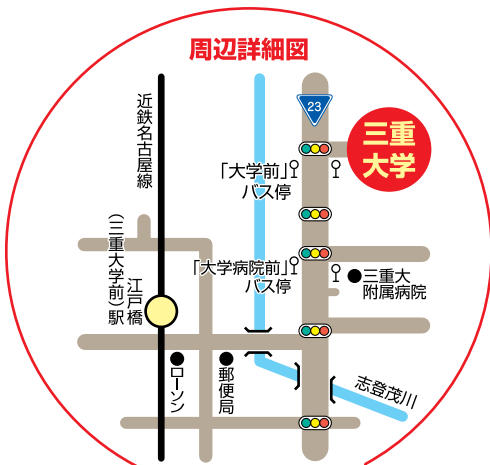
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
三重大学学務部入試チーム
 TEL 059-231-9063

オープンキャンパスに関する詳細は、
 本学ホームページ「入試情報」にて決まり次第お知らせします。

<http://www.mie-u.ac.jp/nyushi/>

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等においても、
 本学の様々な情報を提供いたします。
 詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。



交通のご案内

- 近鉄江戸橋（三重大学前）駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」（06系統）、「太陽の街」（40系統）、「三重病院」（51系統）、「棕本（むくもと）」（52系統）、「豊里ネオポリス」（52系統）、「サイエンスシティ」（52系統）、「三行（みゆき）」（53系統）行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港（セントレア）から
 津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
 TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>